

平成29年度 第4回金沢市入札制度評価委員会の審議概要

開催日及び場所	平成30年2月22日(木) 金沢市役所 第1委員会室		
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 坂井 美紀夫(弁護士) 委員 米田 満(公認会計士) 委員 松本 樹典(金沢大学教授) 委員 本間 学(金沢大学准教授) 委員 西村 督(金沢工業大学教授)		
次第	1 開会 2 審議案件 (1) 工事等に係る入札・契約手続きの運用状況等について ア 平成29年4月1日から平成30年1月31日までに係る本市発注工事 及び工事関連委託業務の結果について イ 入札参加資格停止の運用状況及び談合情報への対応状況について (2) 工事成績評点の入札参加資格要件での活用について (3) 制度の検討課題について (4) 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について (平成29年10月1日から平成29年12月31日) 3 閉会		
抽出案件	5件		
工事	制約付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道基幹管路耐震化事業(29-17工区)配水本管改良工事</li> <li>緑住宅建設工事第3期(給排水衛生設備工事)その1</li> </ul>
	随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>金沢市文化ホール改修工事(昇降機設備工事)</li> </ul>
委託	制約付き一般競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>海側幹線4期 道路修正設計業務委託</li> </ul>
	指名競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>額新保・高尾線消雪改良工事に伴う実施設計業務委託</li> </ul>
審議内容	別紙のとおり		
委員会による報告 又は意見の具申	平成29年度第3四半期の発注工事等に係る入札・契約手続きの運用については、適正に行われていると判断する。		

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号  
 金沢市総務局監理課 工事契約係  
 電話:076-220-2101

委員からの意見は、概ね次のとおりであった。  
工事及び委託業務の業者選考等が適正に行われていることを確認した。

本市の入札契約手続は適正に行われており、入札契約制度に大きな問題点は見られないが、国や県の制度との整合性や入札の状況を踏まえた不断の見直しは必要であり、以下の点について検討してほしい。

- ①国の標準約款の改正を受けて本市でも適正に対応すること。特に下請業者の社会保険未加入対策については、建設業界の若手入職者や担い手確保や育成の観点からも、社会保険の加入を促進させるものであり、制度の趣旨に沿って適切に対応すること。
- ②落札制限については、同一事業者に受注が偏ることで地域経済に与える影響を踏まえると、一定の制限は必要である。落札制限の拡大を行う場合には、過度な制限とならないよう、また、透明性の確保に留意しつつ、他都市の状況も踏まえて適切に対応を行うこと。なお、実施する場合は競争性が確保されている場合に限ること。
- ③最低制限価格と同額での入札やくじ引きの増加は積算情報等の公開が進み、積算能力のある事業者が公正な競争を行った結果である。落札制限の実施や最低制限価格の端数処理についても受注機会の拡大に一定の効果が見られることから制度に問題はないと考えるが、引き続き検証を続けていくこと。
- ④工事事質の確保と地域を支える地元建設業の健全かつ持続的な発展には適正な価格による公正な競争が重要であり、国や県の最低制限価格等の動向にも充分注意を払うと共に、技術力や競争性にも留意のうえ、今後とも地元建設事業者への発注に努めること。

意見の詳細は、次のとおり。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p><b>1 工事・委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下請業者の社会保険未加入対策について、社会保険に加入するのは基本だと思うが、現状においては人材不足の傾向があり、あまり厳しくすると工事が進まないということになりかねないか。</li> <li>石川県は一次下請まで、国は下請契約全てにおいて社会保険の加入状況を確認することだが、金沢市においては石川県の制度を参考に、まずは一次下請までということの様子をみてはどうかと思う。</li> <li>○ 予定価格の公表時期について、金沢市はこれまでどおり事前公表するということが、国は事後公表としている。国が事後公表としている理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国は総合評価方式を導入し、品質確保を求めていく中で、予定価格の事前公表によって、設計書等の中身を精査せずに行う入札が多くなることで、積算能力の低下につながるのではないかと、事後公表としている。</li> </ul>
<p><b>2 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について</b></p> <p><b>水道基幹管路耐震化事業（29-17工区）配水本管改良工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入札結果が7者参加し、そのうち6者が辞退及び不着ということだが、なぜ6者も応札しなかったのか。工事の条件などが関係しているのか。</li> </ul> <p><b>緑住宅建設工事第3期（給排水衛生設備工事）その1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 落札率が100%ということで、参加可能業者が58者いながら、参加が2者となった原因は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該工事箇所については、非常に交通量が多く交通規制が複雑になり、安全施設が膨大になると想定される。また、土工事の箇所が点在していること、下請割合が大きいことから利益が出にくい工事と思われる。さらに、入札当時は管工事業者や交通誘導員の人員が不足しており、人員確保が難しく工期内の完成が困難であると判断した業者が多かったのではないかと推察している。</li> <li>・ 考えられる要因としては、民間需要が多かったこと、また、これまでの同様の工事と比べて発注規模が大きかったことから、参加可能業者がある程度限定されたのではないかと推察している。</li> </ul>

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p><b>金沢市文化ホール改修工事（昇降機設備工事）</b></p> <p>○ 当該施設は建設してから35年が経つということだが、これまでに昇降機設備の改修歴はあったのか。また、メンテナンス等は製造者が行っていたのか。 加えて、当該建物自体が耐震補強の対象となっているが、耐震補強の本体と昇降機設備の耐震対策の整合性については問題ないか。</p> <p><b>海側幹線4期 道路修正設計業務委託</b></p> <p>○ 入札結果を見ると、10者が応札し、落札業者のみ最低制限価格に近い金額で応札している。これまでの関連業務を受注しているので自信があつての応札と考えるが、他の応札者とあまりにも差があるため、その経緯が分かれば確認したい。 また、過去の受注案件についても品質は確保されているのか。</p> <p><b>額新保・高尾線消雪改良工事に伴う実施設計業務委託</b></p> <p>○ 特に意見なし。</p>	<p>・ 当該施設においては、建設してからこれまで改修歴はない。また、メンテナンス等も製造者が行っていた。 建物と昇降機設備の耐震対策の整合性は取れている。</p> <p>・ 落札業者については、関連業務を3つ受注しているため、現場についても熟知していると思われることから、受注意欲が高くなり、最低制限価格近辺での入札になったと推察している。 また、過去の関連業務の品質や直近2年間の他業務のせいについても問題はない。</p>